

創造的な復興へ



県政紹介
シリーズ ⑤

再生可能エネルギー活用 のエコタウンを目指して

災害時におけるエネルギー源の確保と地球温暖化対策の観点から、再生可能エネルギーなどを活用した「エコタウン」の形成が求められています。県内の市町村では、震災からの復興を契機として新たなまちづくりに再生可能エネルギーを取り入れるなど、国や県の支援の下、エコタウン形成の取り組みが進められています。

災害時のエネルギー源確保と地球温暖化

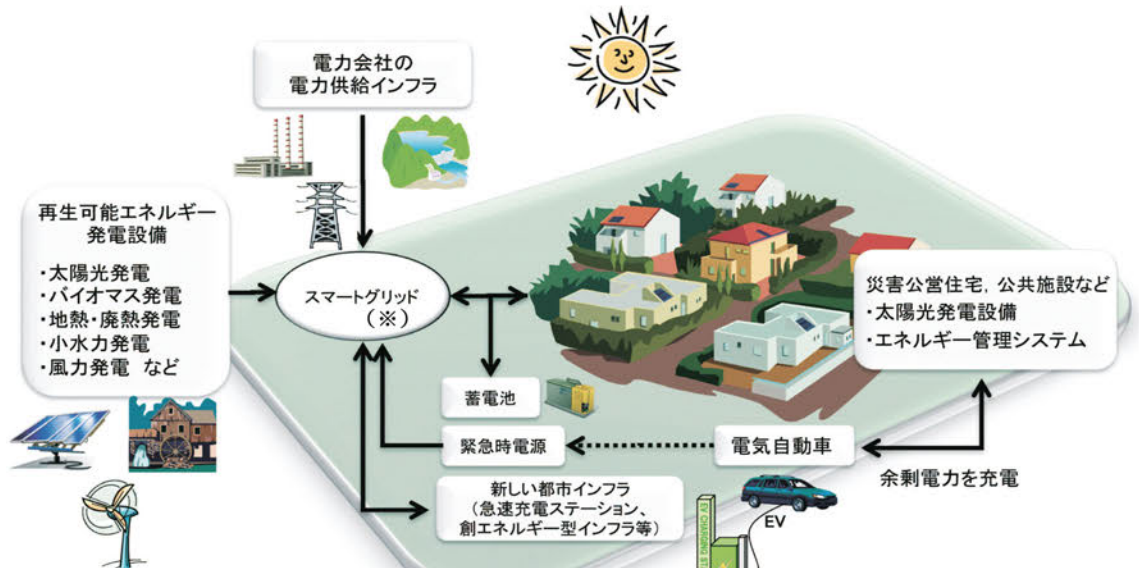
東日本大震災およびこれに伴う原発事故によって、多くの人が電力不足や災害時におけるエネルギー源確保の難しさを経験し、太陽光発電など自立的にエネルギーを供給できる再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの促進がこれまで以上に重要な課題と認識されました。

また、近年、地球規模の異常気象によって大きな被害を伴う自然災害が多発しており、その原因は二酸化炭素の排出量増加に伴う地球温暖化の影響も指摘されています。

エコタウン形成に向けた取り組み

これらを背景に、復興に向けた新たなまちづくりの中で、再生可能エネルギーによる電力供給やエネルギーの効率的な利用ができ、かつ二酸化炭素の排出量を減らすことができるエコタウンの形成が求められています。

このエコタウンの形成は県内各地で進められており、沿岸被災地では、災害時でも電気が途切れないまちづくりや、遊休地を活用したメガソーラーの導入、バイオマス発電による地域の電源確保などの取り組みが行われています。



(※) スマートグリッド…情報通信技術(ICT)を活用して効率的に需給のバランスをとる電力送配電網のこと。

エコタウンのイメージ図

地域ニーズに合ったエコタウン形成

県では、住宅用太陽光発電システムを設置された方への補助を行うとともに、災害時に避難所となる地域の防災拠点施設への再生可能エネルギーなどの導入を推進しています。また、屋根を事業者に貸し出し太陽光発電を行う事業を県有施設に導入したほか、市町の災害公営住宅における事業の導入に向けて準備を進めるなど、県内市町村のエコタウン形成をサポートしています。

今後、国、市町村や民間事業者などと連携を図りながら、災害時にも対応でき、地球温暖化防止にも寄与できる、地域のニーズに合ったエコタウンの形成を目指して取り組んでいきます。

… 新しいエネルギーの普及に取り組めます …

県内各地で太陽光発電展開

おひさま株式会社(石巻市)

再生可能エネルギー普及へ総合的なサービスを展開する石巻市の「おひさま株式会社」(斎藤祐司社長、通称おひさまコーポレーション)が、エネルギー事業推進で復興支援につなげようと積極的な動きを見せている。

東松島市では、市民体育館の屋根を借り受け、太陽光パネルを設置して発電事業を実施。年間63万kWhと見込む全量を売電する。同市と共同で県の補助事業を活用し、エコタウン実現可能性調査にも取り組んでいる。

屋根を借りての太陽光発電事業は、蔵王町の産業廃棄物処理企業でも実施。大崎市の市有地を活用したメガソーラー導入事業も手掛けている。

加美町では、遊休町有地を活用した住民参加型の太陽光発電事業という試みに挑戦している。小学校跡地に建設する発電所などの事業費の一部を市民ファンドで賄い、売電収益を出資者に分配する事業も展開する。

斎藤社長は「東日本大震災後に設立した会社ですが、事業の構想は震災前からありました。地域の電力をほそぼそと融通し合おうと思っていたので、電力の買い取り制度が始まったことで積極的な事業展開が可能になりました」と、事業化の手応えを話した。



屋根に太陽光パネルが設置された東松島市民体育館

住宅用太陽光発電システムを設置された方への補助を行っています

対象 県内に住宅用太陽光発電システムを設置し、平成26年1月1日から平成26年12月31日までの間に電力受給を開始した個人または法人

補助金額 1件あたり6万円(定額)

申込期限 平成27年2月27日(金)(先着順に受け付け)



※予算額を超えた場合、期間内でも受け付けを終了する場合があります。

申請窓口

みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)

〒981-0933
仙台市青葉区柏木1丁目2-45 フォレスト仙台ビル5F
電話 080-2811-3510
080-8214-1286

エネルギー教育へ足掛かり

太陽光パネル設置の石巻市向陽小

石巻市は、災害時にも明かりと情報の途切れない「エコ・セーフティータウン」を目指し、平成25年度から小中学校へ太陽光発電設備などの設置を進めている。

向陽小は、太陽光パネルと非常用電源となる蓄電池を設置し、また発電量や消費量、蓄電量などは大型モニターに表示して「見える化」し、エネルギー教育に生かしている。

同小の石森和義教頭は「電気は水と違い消費量を実感しにくい面がありましたが、見える化により、児童に節電を意識してもらいやすくなりました」と効果を実感する。

本年度はエネルギー教育の足掛かりとして、太陽光発電の仕組みの説明や節電の意識付けなどを実施。来年度は、自分たちの生活と結びつけた実践的な学習に取り組む方針だ。「設置されたシステムを上手に使い、子どもたちに省エネへの意識をより高めてもらえるようにしていきます」と意気込む。

非常時に備え、行政委員ら地区の防災連絡協議会メンバーやPTA役員などにもシステムを紹介し理解を深めている。

石森教頭は「避難者を受け入れられるよう体制を整えています」と話した。



発電量などが「見える化」され児童も関心を示している

企画/県広報課 ◎お問い合わせ/県再生可能エネルギー室/ 022(211)2654

県からのお知らせ

自主防災組織の活動調査にご回答をお願いします

県では、自主防災組織の代表の方を対象に、東日本大震災時の活動状況や現在の活動実態を調査するアンケートを実施しています。

調査結果は公開し、防災指導員の養成など今後の防災対策や、自主防災活動の推進に役立てています。10月下旬に調査票を郵送しましたので、ご回答をお願いします。

☎ 県危機対策課
☎ 022(211)2376

アルコール関連問題でお悩みの方は、ご相談ください

アルコール関連問題とは、アルコール依存症や多量飲酒、妊婦の飲酒など、アルコールに関連した問題の総称です。

不適切な飲酒は本人の健康問題のみならず、家族に深刻な影響を与えたり、重大な社会問題を生じさせたりする可能性があります。

各保健所では、アルコール関連問題に関する相談を受け付けていますので、お悩みの方は、一度ご相談ください。

☎ 各保健所
☎ 県障害福祉課
☎ 022(211)2518
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/gyokei/medical.html

食の安全安心セミナー参加者募集

食べ物に潜むリスクについて、理解と関心を深めていただくため、セミナーを開催します。

●内容/講演「食べ物の基礎知識」(講師:内閣府食品安全委員会事務局職員)、「家庭における食中毒対策」(講師:県職員)
●定員/100人(先着順)
●日時/11月26日(水)午後1時30分～3時30分
●場所/県大河原合同庁舎大会議室
●申し込み/11月19日(水)までに、氏名、連絡先を、電話またはEメールにより下記へ
☎ 県食と暮らしの安全推進課
☎ 022(211)2643
Eメール syokua@pref.miyagi.jp

平成27年版「みやぎ手帳」販売

「みやぎ手帳」は、月間予定(1カ月分見開き2ページ)と週間予定(1週間分見開き2ページ)を記載できる日記帳と、本県の情報などを掲載した資料編で構成しています。

特に、資料編は、県の最新統計情報や県内市町村一覧、県内主要官公庁一覧のほか、県内観光施設・スポーツ施設、県民相談窓口など、仕事や生活に役立つ情報が満載です。ぜひご利用ください。

●発売時期/11月上旬予定
●販売場所/県の各合同庁舎売店など
●販売価格/500円(税込み)
☎ 県統計協会(県統計課内)
☎ 022(211)2451

オープン・オフィス in 宮城県庁参加者募集

県庁内の執務室で職員から直接話を聞くことができる職場見学会を開催します。

●対象/現在大学または大学院に在学し、宮城県の業務に関心のある方
●定員/各日程70人(先着順)
●日時/①12月19日(金)②平成27年1月13日(火)③④とも午後1時30分～5時30分
●場所/県庁1階みやぎ広報室、県庁内各課
●申し込み/11月17日(月)～28日(金)に、下記ホームページから電子申請
☎ 県人事委員会事務局職員課
☎ 022(211)3761
http://www.pref.miyagi.jp/site/saiyou/

獣医師の届出について

獣医師資格を有する方は、獣医師法の規定に基づき、2年ごとに12月31日現在の状況を、住所地のある都道府県知事を経由して農林水産大臣に届け出る必要があります。該当する方は、忘れずに届け出をしてください。

●提出期限/平成27年1月31日(土)
●届け出用紙/農林水産省ホームページからダウンロード
●提出先/最寄りの県家畜保健衛生所
☎ 県の各畜産保健衛生所
☎ 県畜産課
☎ 022(211)2854

県議会11月定例会開催

11月26日(水)午前10時から、11月定例会の本会議が開会される予定です。本会議や委員会は傍聴できるほか、インターネットでも本会議の様子をご覧いただけます。

【第350回宮城県議会記念式典(開会初日)】
●日時/11月26日(水)午後3時～5時
●場所/県議会庁舎議場
●内容/議場コンサート(出演:熊谷美芙氏)、記念講演「課題解決先進国『日本』へのラチナ社会へ向けたイノベーション」(講師:三菱総合研究所理事長 小宮山宏氏)
☎ 県議会事務局総務課
☎ 022(211)3571
http://www.pref.miyagi.jp/site/kengikai/

ルルブルフェスティバルin石巻

子どもたちの大切な基本的な生活習慣「ルルブル(しっかり寝る・きちんと食べる・よく遊ぶで健康に伸びる)」を育むため、ルルブルフェスティバルを開催します。

●内容/親子で遊べるニュースポーツゲーム、ストーンベントニングなどの手作り体験教室、昔あそび体験など
※来場者には、アニメむすび丸のキャラクターグッズなどをプレゼントします。
●日時/11月22日(土)午前10時～午後3時
●場所/石巻市総合体育館
●費用/申し込み/無料・不要(入退場自由)
☎ 宮城県立がんセンター
☎ 022(211)3616

宮城県最低賃金の改定

宮城県最低賃金は県内の事業場で働く全ての労働者(臨時、パートタイマー、アルバイトなど含む)に適用されます。
●宮城県最低賃金/710円(時間額、10月16日から)
※なお、「鉄鋼業」、「電子部品・デバイス・電子回路製造業」、「電気機械器具製造業」、「情報通信機械器具製造業」および「自動車小売業」の3業種については特定(産業別)最低賃金が定められていますので、下記または最寄りの労働基準監督署へお問い合わせください。

☎ 宮城労働局労働基準部賃金室
☎ 022(299)8841
http://miyagi-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/
☎ 県雇用対策課
☎ 022(211)2771
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/koyou/saichin.html

県民公開講座「がんを怖くないものにするために」

がんの原因となる生活習慣や、予防法、がんを発見する最新医療機器や治療について、各医療分野の専門医師がわかりやすく説明します。

●内容/講演「がんを怖くないものにするために～予防と早期発見～」(講師:名取市医師会・宮城県立がんセンター・宮城県立精神医療センターの医師)
●日時/11月27日(木)午後2時～4時30分
●場所/名取市文化会館
●費用/申し込み/無料・不要(入退場自由)
☎ 宮城県立がんセンター
☎ 022(384)3151

復興業務に従事する任期付職員を募集します

宮城県沿岸4市町任期付職員合同採用試験および説明会開催

県内の沿岸市町では、東日本大震災からの復興に向け、職員一丸となつてさまざまな事業に取り組んでいます。復旧・復興事業を加速させるため、沿岸4市町(石巻市・気仙沼市・女川町・南三陸町)では、一時的に増加している業務に対応する職員を募集します。

●職員採用自治体 石巻市、気仙沼市、女川町、南三陸町
●職種・採用予定人員

市町名	職種	土木	建築	電気	機械	保健師	計
石巻市		25	13	2	3	2	45
気仙沼市		10	1	1	1	1	14
女川町		2	3	—	—	—	5
南三陸町		3	3	1	—	1	8
計		40	20	4	4	4	72

●給与待遇等 ●第一次試験 ●第二次試験
各市町の規定による書類選考(作文試験) 人物試験(面接試験) ※第一次試験合格者を対象に、合同採用説明会を実施した4都市で1月上旬～中旬に実施(希望する会場で受験できます。)

●申し込み 11月6日(木)～12月5日(金)(郵送の場合、消印有効)に、所定の様式に必要事項を記入の上、書類選考用の作文と合わせて、採用を希望する市町へ提出

●任期 原則として平成27年4月1日～平成29年3月31日(採用された市町の状況などにより、最大5年まで更新することがあります。)

●合同採用説明会 各市町の個別説明(申し込み不要・入退場自由)
【名古屋会場】名古屋都市センター14階 第3・4会議室
日時 11月15日(土) 午前9時30分～11時30分
【仙台会場】宮城県自治会館2階 202・203会議室
日時 11月15日(土) 午後1時30分～4時
【東京会場】東京都第二庁舎1階 二庁ホール
日時 11月16日(日) 午後1時30分～4時30分
【大阪会場】国民会館12階 武庫記念ホール
日時 11月16日(日) 午後1時30分～4時30分

詳しくは、各市町村課ホームページをご覧ください。

☎ 県市町村課 TEL:022(211)2334 FAX:022(211)2299 Eメール jinkan@pref.miyagi.jp
宮城県市町村課

企画/県広報課